

の西にある山で、淡窓の記すように「山高キニ非ザレドモ」眺望優れた山である。

六 その他日田周辺

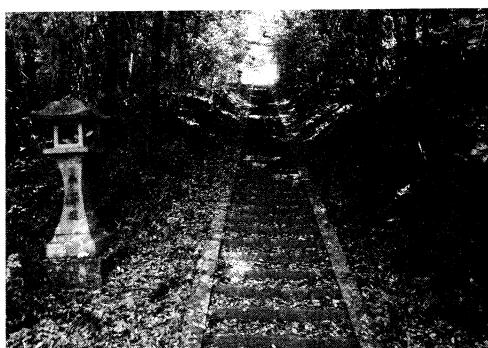
以上、淡窓・咸宜園における放學と遊山、そして参詣の関係地を見てきたが、このほかにも特記すべき所が散見する。

鞍形尾神社（図1・59）

天保二年（一八三二）

・二月四日。伸平、謙吉、及門生三十余人ヲ携ヘテ馬鞍山ニ遊フ。俗ニクラカタヲト称スルモノナリ。家ヲ去ルコト一里半、路甚々険ナラツ。眺望又佳ナリ。終日ニシテ帰レリ。此山、朝夕観望スル所ナレトモ、往イテ遊フコトハ、此ニ始マレリ。

鞍形尾神社は玖珠川をさかのぼつた馬原の山中にある。この神社は前述のように大原八幡神社の淵源にかかる伝承があり、天武天皇九年（六八〇）、鞠負郷岩松峰（日本市天瀬町金場の北）に宇佐の鷹の居の社にいます神と名乗る神が現れ、社（鞍形尾の宮）を建てて祀つたと伝える。



鞍形尾神社

尾力瀬（図1・58）

天保七年（一八三六）

・三月十三日。久兵衛力誘ニ因ツテ、尾力瀬ニ遊フ。謙吉、来真、直次、守一、文董、鉄之介従行。（略）尾力瀬ハ上堰ノ東ニアリ。昔年新渠ノ役アル時、先考ニ陪シテ一ヒ往ケリ。今又十四年ニシテ再遊セリ。近年久兵衛、渠上ニ醸釀ヲ栽ルコト三百余歩ナリ。近來花盛ニ開クヲ以テ、行イテ見ルナリ。廐舎ニ於テ行厨ヲ開ク。既ニシテ舟ニノリ、川上ニ遡洄スル者、七八町ナリ。



小ヶ瀬井手取水口

中尾村は、慈眼山の東方、有田川の左岸にある。ここで行厨にあたり、「火ヲ燃シテ飯ヲ炊キ、茶ヲ烹レリ」とあるのは興味深い。

中尾村は、慈眼山の東方、有田川の左岸にある。ここで行厨にあたり、「火ヲ燃シテ飯ヲ炊キ、茶ヲ烹レリ」とあるのは興味深い。

中尾村は、慈眼山の東方、有田川の左岸にある。ここで行厨にあたり、「火ヲ燃シテ飯ヲ炊キ、茶ヲ烹レリ」とあるのは興味深い。

中尾村 天保三年（一八三三）